

第20回 環境フォーラム

カブトガニと共存するための私たちの未来構想図



カブトガニを守ろう

提案① カブトガニを育てる (図)

カブトガニを保護する。野生のカブトガニが産んだ卵を拾って、安全に飼育できるようにする。少し大きくなったら、手厚に育てる。

提案② 堰をつくり変える

<問題> なぜ産卵場所が減っている? なんですか? 考えてみてね!

(図)

まとめ

- ・1人1人の心がけも大切。

干潟の環境は、山と川の環境にもつながりがある!

堰とは?

山から流れてきた水をせき止めて、川の上流の水の位置を上げることによって、水をためておいたり、川を流すのを遅くしたり、計画的に水を放す役割をします。

堰のいいところ

- ・家畜のある川の水をためて畑や田んぼに水を貯えることができる。
- ・遊泳は、魚などのお宝の宝。
- ・遊泳は、遊泳場として利用される。
- ・貯水は、洪水防止に役立つ。

堰の悪いところ

- ・貯水の際、水が止まることで、川に生息する生き物に悪影響がある。
- ・貯水は、洪水防止に役立つ。
- ・貯水は、洪水防止に役立つ。

堰の改良点

- ・貯水の際、水が止まることで、川に生息する生き物に悪影響がある。
- ・貯水は、洪水防止に役立つ。
- ・貯水は、洪水防止に役立つ。

干潟に関するゲームができる

曾根東の町の未来構想図の模型が見れる。

カブトガニや生き物の映像が見れる。

干潟の生き物たちの映画を見ることが出来る。

干潟の生き物のいる水槽

生き物の説明の展示が見られる

水櫃 第3ゾーン

第2ゾーン (ゲームコーナー)

第1ゾーン

第5ゾーン

第4工作ゾーン

受付

多目的ホール

カブトガニミュージアム 構想図

メニュー

- ・カブトガニカレー税702円
- ・お子様ランチセット税892円
- ・カブトガニパスタ税800円
- ↳ ミリサイズ 税560円

単品

- ・フライドポテト210円
- ・セリー税略
- ・カラあげあげMAX 税315円
- ・カレーのルー 税100円

飲み物

入場料の使い方

業者に山の清掃を頼む	環境に関係ある企業に寄付
メリット	メリット
ゴミが川からくる可能性が低くなる	指定ごみ袋など無料配布出来る
木などを植えることができる	他の海や川の掃除出来る
干潟に栄養のある土を送れる	カブトガニなどを研究出来る

カブトガニについて たくさんの人に知ってもらいたい!

カブトガニの卵を増やすために私たちが、「カブトガニの卵を増やすために」という提案をするのは今、砂浜が減っているから、カブトガニが卵を産めずに、数が減っているからです。カブトガニを増やすためには、①砂浜を増やし、カブトガニが卵を産めるようにし、②増えた卵を、施設で保護し、③宥つと、曽根干潟にはなします。

これが実現すると曽根干潟に、カブトガニが増えるのでカブトガニが絶滅危具種ではなくなると思います。

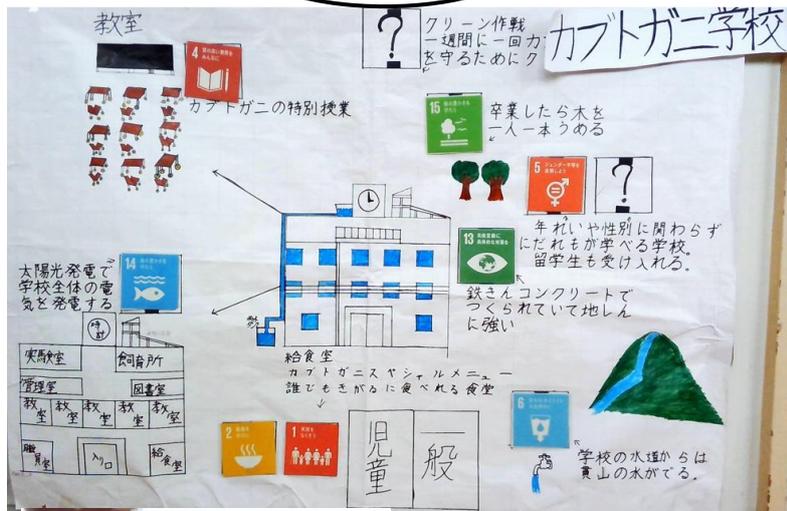
まとめ
砂浜を増やし、カブトガニが卵を産めるようにして、その卵を保護して、そだつと干潟に、はなして絶滅から守る。



カブトガニを守るために
カブトガニ病院や保護施設を作りたい!

保護しせつを造った時の効果
造る場所：干潟
造らうとした理由
カブトガニを守りたか。だから。
☆効果

保護しせつを造った時	保護しせつを造っていない時
<p>干潟</p> <ul style="list-style-type: none"> 川がきれい ごみがない 生き物がすめる状態 	<p>干潟</p> <ul style="list-style-type: none"> 川がよごれている ごみがある 生き物がすめない状態



ロボット
発明したよ!



電気自動車
 電気をエネルギー源とし、電動機(モーター)で走行する。
 内燃機関(エンジン)を持たない車から走行時に二酸化炭素(CO₂)や窒素酸化物が出ないゼロエミッション車である。

電気自動車
 バッテリーに電気を充電する

エンジン車
 ガソリンタンクにガソリンを入れる

電気でモーターを動かし
 駆動力を生む
 排出物は出ない
 車が走る

ガソリンでエンジン
 を動かし駆動力を生む。
 排気ガスが出る
 車が走る



未来の
 エコ自動車



ソーラーパネル

プロペラ

未来のエコカー



カブトガニ (カブトガニ) **クイズ**

Q1. 何億年前から生きているのでしょうか?

ヒント!
 恐竜が生きた時代です。

答え

カブトガニクイズを使って
 5年生にカブトガニについて知
 ってもらおう!

カブトガニ産卵場所

砂浜

ここで入場券を買ってもらう!

カブトガニ博物館

カブトガニ食堂

売店 ショップお土産 屋台

チケット売場

駐車場

ぼんじんロボット 曾根千羽のぼんじん

ロボット ゴアムごみを集める



ゴミ拾い分別ロボット
カブトガニと共存するために



イエーイ!!
がんばっしょん!!

現状と改善

現在の豊根干潟はたくさんのゴミが漂着しています。私たちは現状を変えるためにゴミ拾い分別ロボットを開発しました。そのロボットは、ゴミを拾ったり、分別をしたりリサイクルが出来ます。その前に、現在開発されているゴミ拾いロボットを見てみましょう。



まだ見ぬロボット

タブレットを使って、
作りました!

**カブトガニを知ってもらうために
観光地を作ろう!**

私たちの周りには、カブトガニを知らない人や、生き物がいるのにゴミをポイ捨てしている人などがいます。今、カブトガニはだんだん減ってきていて、卵を産む場所も少なくなっています。私たちは、カブトガニと共存したいと考えています。カブトガニと共存するためには、観光地をつくりたいと思いました。



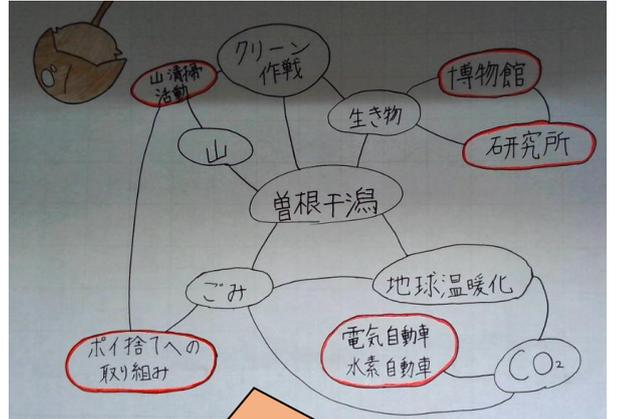
ごみのない世界を目指そう!!



カブトガニ減少原因
問題3

- 1 埋め立て工事
- 2 産卵場の崩壊
- 3 環境破壊

自分たちができることはなんだろう?



イメージマップでカブトガニと環境問題のつながりを考えたよ!